

瀬戸内海東部海域におけるサワラ人工種苗の標識放流結果 I 移動回遊について

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-04-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 竹森, 弘征, 坂本, 久, 植田, 豊, 山崎, 英樹, 岩本, 明雄 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014557

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



瀬戸内海東部海域におけるサワラ人工種苗の標識放流結果

—I. 移動回遊について

竹森弘征・坂本 久・植田 豊・山崎英樹・岩本明雄

1999 年から 4 年間サワラ人工種苗を用いた標識放流を行い、その放流魚の再捕状況から、放流魚の移動回遊の検討を行った。その結果、備讃瀬戸東部海域で放流された種苗が、10 月頃までは主に播磨灘や大阪湾で再捕され、11 月以降になると主に紀伊水道で再捕された。さらに放流翌年の春には 1 歳魚となって燧灘や播磨灘で再捕された。また 2 歳魚、3 歳魚の標識魚が春に播磨灘で再捕されたことから、瀬戸内海東部系群サワラの瀬戸内海東部海域での季節に応じた移動回遊が繰り返されることが認められた。

栽培技研, 32(1), 25-34, 2005